

**令和4年度対クック諸島草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ヴァイトウ小学校内の幼児教育部専用屋外広場整備計画」署名式**

2023年3月4日、令和4年度対クック諸島草の根・人間の安全保障無償資金協力「ヴァイトウ小学校内の幼児教育部専用屋外広場整備計画」の署名式がクック諸島アイツタキ島にて執り行われ、西岡 達史公使とヴァイトウ小学校委員会リンダ・ルアモアナ会長が贈与契約書に署名を行いました。

本プロジェクトを通じて、日本はヴァイトウ小学校委員会に対して、90,570NZドルを供与し、ヴァイトウ小学校の校庭に幼児教育部の子供達用に屋外広場を設け、子供達が安心して遊び学べるような環境に整備します。直射日光にさらされないよう屋根を設置して日陰のエリアを確保すると共に、子供たちが道路に出てしまわないように周囲をフェンスで囲みます。現在の在校生に加えて、これから入学してくる子供たちが安全かつ健康的な環境でめいっぱい遊べるようになることが期待されます。

署名式において、西岡公使は、「クック諸島と日本にはこれまで12年間に及ぶ外交関係の歴史があり、私はその歴史を誇りに思います。クック諸島は南太平洋に位置し、日本は北太平洋に位置するため、お互い距離的には非常に遠い存在ですが、同じ太平洋で共に生きているのです。新型コロナウイルスの影響で両国間の訪問が一時期中断されましたが、両国の協力関係はこれまで一度も中断されたことはありません。」と述べました。

